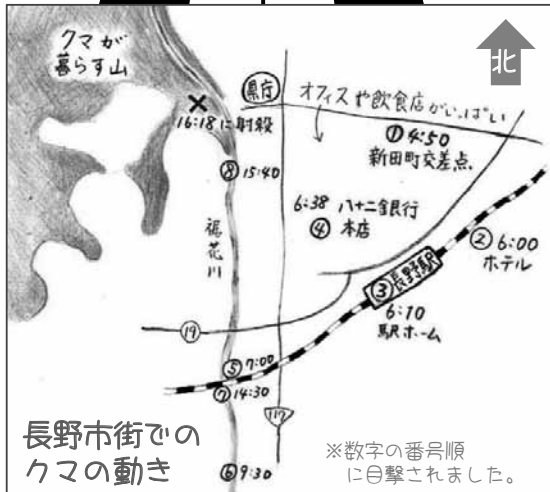
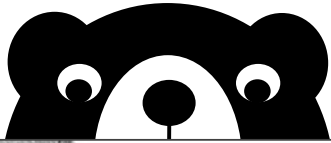


## ～長野駅に現れたクマはどんなクマ？～

今年クマのニュースがたくさん報道されています。覚えていますか？ 2012年秋には、長野駅でもツキノワグマが出ました。駅ホームや八十二銀行本店をうろろしたそのクマは、安全のため駆除され、当研究所で年齢や食性が分析されました。そのクマがどんなクマだったのか、当時分析を担当した岸元良輔さん（当研究所元研究員）に聞いてみましたよ。



### Q. どんなクマだったのでしょうか？

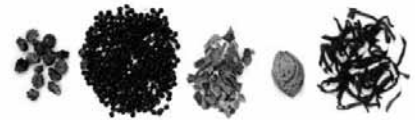
岸元さん：このクマは、歯の根元にできる年輪から「3歳」と分かりました。体重も60～65kgとのことでしたので、大人になる前の若いオスグマになりますね。

### Q. どうして街中に出てきちゃったのでしょうか？

岸元：長野駅にクマが出るなんてとんでもないこと！と思うかもしれませんが、実はそうでもないんですよ。長野駅近くにもクマが暮らしている山はあります（地図）。このクマは、長野駅で目撃されたあと、裾花川の河川敷でうろろしていたので、この河川敷の上流に暮らしていたのかもしれませんが。夜明け前に河川敷からたまたま出てみたら、けっこうな街中だった！というようなことが考えられます。

### Q. 街中では何をしていたの？

岸元：目撃情報からクマの行動を整理すると、ゆったりとくつろいでいたわけではないようです（絵地図）。体毛分析からも、街の暮らしに依存している、という結果は出ませんでした。たまたま街中に入ってしまい人にも出会い、内心は慌てていたのではないのでしょうか？一方で、胃の中からは、ヨウシュヤマゴボウの種子がたくさん出てきました（写真）。捕まったときには手の平が果汁で紫色に染まっていたそうなので、裾花川の河川敷では食事していたんじゃないのでしょうか。

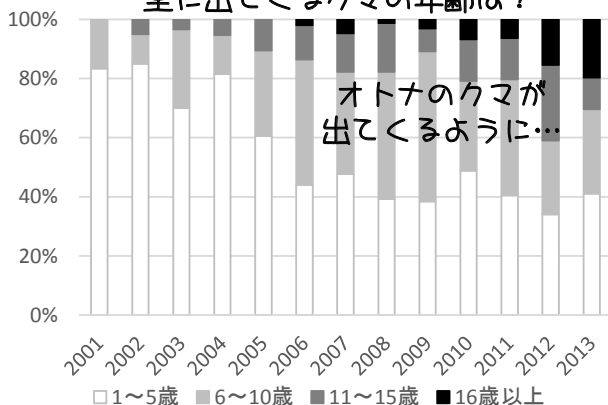


長野市街地に出没したツキノワグマの主な胃内容物  
（左からヨウシュヤマゴボウの実、その種子、オニグルミの実の殻、モモの種子、ハグロケバエの幼虫）

ヨウシュヤマゴボウ⇒  
有毒植物なので、皆さんは  
食べてはいけませんよ。



### 里に出てくるクマの年齢は？



### Q. もともと近くにいたクマなののでしょうか？

岸元：若いクマなので、出生地から離れて新天地を探していた可能性も捨てきれません。ただ最近では、市街地からすぐの山の裾野でも大人のクマが捕まるようになってきました（左のグラフ）。つまりツキノワグマ自体が、ご近所さんになりつつあるということですね。このクマも近くの山にすんでいて、裾花川沿いにおりてきたのかもしれませんが。

### クマとの距離、より近く！！

### —慌てず日頃から対策を—

- ◎出没を防ぐ：やぶの刈り払い、農作物の残渣や生ゴミなど誘引物の除去を徹底
- ◎行動に気を付ける：早朝や夕方は森に入らない。人の存在を周知するよう鈴やラジオを携帯
- ◎情報を把握：クマ目撃情報の場所や時間をチェックし、その周辺にはクマがいるものと考えて行動（黒江 美紗子）